

BEST AVAILABLE COPY

Japan Patent Office Patent Laying-Open Gazette

Patent Laying-Open No. 04-184621
Date of Laying-Open: July 1, 1992
International Class(es): G06F 3/14

(4 pages in all)

Title of the Invention: Window Control Device

Patent Appln. No. 2-317257
Filing Date: November 20, 1990
Inventor(s): Wakahiko Okazaki

Applicant(s): MATSUSHITA ELECTRIC IND CO LTD

(transliterated, therefore the
spelling might be incorrect)

Partial English Translation of
Japanese Patent Laying-Open No. 04-184621

Title of the Invention: Window Control Device

Fig. 1 shows a window display screen and an input device. On the base window 14 displayed on the personal computer 10, an operator uses the keyboard 11 or mouse 12 to move the cursor 15 to the icon 16 of a file to be opened and click the button 13 of the mouse for specifying the icon 16. Fig. 2 is an enlarged view of the icon 16 showing a click area of the icon that has the picture 20 of the icon, the name 21 of the icon and the background color 22 of the icon for the operator to easily find the icon. Such information is used to find a target icon based on the visual image and the cursor is moved to the icon where a click is made. The icon is divided into six sections for selecting a position where a click is made. The operator can select one of the click area A 23 to click area F 28. When any of the click areas A 23 to F 28 is selected, the position where a window is displayed is determined. One of the areas is thus selected to specify the position where the window is opened.

Fig. 2

- 20 ICON'S PICTURE
- 21 ICON'S NAME
- 22 ICON'S BACKGROUND COLOR
- 23 CLICK AREA A
- 24 CLICK AREA B
- 25 CLICK AREA C
- 26 CLICK AREA D
- 27 CLICK AREA E
- 28 CLICK AREA F

DOCUMENT FILE

⑩ 日本国特許庁(JP)

⑪ 特許出願公開

⑫ 公開特許公報(A) 平4-184621

⑬ Int. Cl.⁵

識別記号

庁内整理番号

⑭ 公開 平成4年(1992)7月1日

G 06 F 3/14

3 5 0 A

9188-5B

審査請求 未請求 請求項の数 1 (全4頁)

⑮ 発明の名称 ウインドウ制御装置

⑯ 特 願 平2-317257

⑰ 出 願 平2(1990)11月20日

⑱ 発 明 者 岡 崎 若 彦 大阪府門真市大字門真1006番地 松下電器産業株式会社内
 ⑲ 出 願 人 松下電器産業株式会社 大阪府門真市大字門真1006番地
 ⑳ 代 理 人 弁理士 小 鍛 治 明 外2名

(57) 【要約】

〔目的〕 入力装置を用いてオープンしたいファイルのアイコンまでカーソルを移動し、アイコンをクリックすることにより、ウインドウをオープンする位置を有効に決定する。

〔構成〕 パーソナルコンピュータ10に表示されているベースウインドウ14で、キーボード11またはマウス12を使用し、オープンしたいファイルのアイコン16までカーソル15を移動し、マウスのボタン13でアイコン16をクリックする。アイコンはクリックする位置が選択できるようにここでは6分割されており、操作者はカーソルでクリックエリアA23～F28まで選択できる。このエリアA23～F28が選択されたとき、ウインドウ表示する位置は決まっており、この選択位置でウインドウをオープンする位置を指定する。

【窓 制御 装置 入力 装置 オープン ファイル アイコン
 カーソル 移動 クリック 位置 有効 決定 パーソナル コ
 ンピュータ 表示 ベース 鍵盤 マウス 使用 ボタン 選択
 6分割 操作員 領域 F 窓 表示 おり 選択 位置 指定】

(2)

1

2

【特許請求の範囲】

カーソルを移動し位置を指定する入力装置と、ウィンドウ、アイコン、カーソル等を表示する表示装置と、前記表示装置で表示したアイコンを複数のエリアに分割し、前記複数のエリアに対応してウィンドウをオープンにする前記表示装置内の位置を決定するウィンドウ制御手段とを備えたことを特徴とするウィンドウ制御装置。

(3)

⑩ 日本国特許庁(JP)

⑪ 特許出願公開

⑫ 公開特許公報(A) 平4-184621

⑬ Int. Cl.⁵

識別記号

庁内整理番号

⑭ 公開 平成4年(1992)7月1日

G 06 F 3/14

3 5 0 A

9188-5B

審査請求 未請求 請求項の数 1 (全4頁)

⑮ 発明の名称 ウィンドウ制御装置

⑯ 特 願 平2-317257

⑰ 出 願 平2(1990)11月20日

⑱ 発 明 者 岡 崎 若 彦 大阪府門真市大字門真1006番地 松下電器産業株式会社内

⑲ 出 願 人 松下電器産業株式会社 大阪府門真市大字門真1006番地

⑳ 代 理 人 弁理士 小 鍛 治 明 外2名

明 細 書

1. 発明の名称

ウィンドウ制御装置

2. 特許請求の範囲

カーソルを移動し位置を指定する入力装置と、ウィンドウ、アイコン、カーソル等を表示する表示装置と、前記表示装置で表示したアイコンを複数のエリアに分割し、前記複数のエリアに対応してウィンドウをオープンにする前記表示装置内の位置を決定するウィンドウ制御手段とを備えたことを特徴とするウィンドウ制御装置。

3. 発明の詳細な説明

産業上の利用分野

本発明は、入力装置でウィンドウをオープンするウィンドウ制御装置に関するものである。

従来の技術

従来、表示装置にウィンドウをオープンさせる場合、マウス等の入力装置でカーソルをアイコンまで動かし、マウス等の入力装置に備わっているボタンをクリックまたはダブルクリックすること

により、ウィンドウを任意の位置にオープンさせていた。

発明が解決しようとする課題

しかしながら、マウス等の入力装置で、カーソルをアイコン上まで動かしボタンをクリックまたはダブルクリックした時点で、操作者がウィンドウをオープンしたい位置は決まっているが、アイコンをクリックまたはダブルクリックすると、ウィンドウは任意の位置にオープンする。もし、作業を行いたいウィンドウが複数あり、このウィンドウがオーバーラップした場合、操作者が作業のし易い場所へマウス等の入力装置でドラッグとリリースの操作を行いウィンドウを移動する必要があるが、ウィンドウを移動する時間と手間がかかり、すぐにオープンしたウィンドウ内、または、他のウィンドウ内で作業を行うことができないという問題がある。

本発明は、上記課題を解決するものでウィンドウをオープンする位置を任意に決定することのできるウィンドウ制御装置を提供することを目的と

(4)

特開平4-184621 (2)

する。

課題を解決するための手段

本発明は上記目的を達成するために、カーソルを移動し位置を指定する入力装置と、ウィンドウやアイコンやカーソルなどを表示する表示装置と、表示装置で表示したアイコンを複数のエリアに分割し、複数のエリアに対応してウィンドウをオープンする表示装置内の位置を決定するウィンドウ制御手段とから構成される。

作用

上記構成により、操作者はウィンドウをオープンしたい位置から、アイコン上のどこにカーソル位置を指定するかを考え、マウス等の入力装置でカーソルの移動を行い、そしてクリックまたはダブルクリックすることで、ウィンドウをオープンする位置を決めることができる。

実施例

以下、本発明の一実施例について、図面を参照しながら説明する。

第1図は本発明のウィンドウの表示画面と入力

装置を示すものである。第1図で、10は表示装置を内蔵したパーソナルコンピュータ、11は文字等を入力するキーボード、12はカーソル等を移動するマウス、13はカーソルで指し示された位置を選択するボタン、14はシステムを起動した時に発生するベースウィンドウ、15はアイコン等を指定するカーソル、16はファイルがあることを示すアイコン、17はアイコンをクリックすると発生するウィンドウ画面A、18はアイコンをクリックすると発生するウィンドウ画面Bである。第2図は本発明の実施例におけるアイコンのクリックエリアを示すものである。第2図で、20はファイルの内容が客観的に判断できるアイコンの絵、21はファイルの内容を示したアイコンの名前、22はアイコンの属性を示すバックカラー、23はウィンドウを左上部にオープンするクリックエリアA、24はウィンドウを上部にオープンするクリックエリアB、25はウィンドウを右上部にオープンするクリックエリアC、26はウィンドウを左下部にオープンするクリックエ

リアD、27はウィンドウを下部にオープンするクリックエリアE、28はウィンドウを左下にオープンするクリックエリアFである。第3図は本発明の実施例におけるウィンドウ制御手段を示すものである。第3図で、30はクリックエリアA 23の座標を発生するクリックエリアA座標発生部、31はクリックエリアB 24の座標を発生するクリックエリアB座標発生部、32はクリックエリアC 25の座標を発生するクリックエリアC座標発生部、33はクリックエリアD 26の座標を発生するクリックエリアD座標発生部、34はクリックエリアE 27の座標を発生するクリックエリアE座標発生部、35はクリックエリアF 28の座標を発生するクリックエリアF座標発生部、36はカーソルの座標を発生するカーソル座標発生部、37はクリックエリアA座標発生部30～クリックエリアF 35で発生した座標情報とカーソル座標発生部36で発生した座標より、カーソルがクリックエリアA 23～クリックエリアF 28またはその他のエリアを指定したかを判

断し、ウィンドウの座標を発生するウィンドウ位置制御部、38はウィンドウ位置制御部37の座標情報からウィンドウを表示する表示装置である。

以上のように構成された本実施例のウィンドウ制御装置について、以下にウィンドウがオープンするまでの動作を説明する。

第1図はウィンドウ表示画面と入力装置の図で、操作者は、パーソナルコンピュータ10に表示されているベースウィンドウ14で、キーボード11またはマウス12を使用し、オープンしたいファイルのアイコン16までカーソル15を移動し、マウスのボタン13でアイコン16をクリックする。アイコン16の拡大図が第2図アイコンのクリックエリアの図で、アイコンには、操作者が容易に採せるように、アイコンの絵20やそのアイコンの名前21やアイコンのバックカラー22がある。これらの情報で目的のアイコンを視覚的なイメージで探し、カーソルを移動しアイコンをクリックする。アイコンはクリックする位置が選択できるように6分割されており、操作者

(5)

はカーソルでクリックエリアA23～クリックエリアF28まで選択できる。クリックエリアA23～クリックエリアF28が選択されたとき、ウィンドウを表示する位置は決まっており、この選択で、ウィンドウをオープンする位置を指定する。

これを第3図ウィンドウ制御手段に示す。クリックエリア内部のカーソルの有無の判断は、クリックエリアA座標発生部30～クリックエリアF座標発生部35のクリックエリア座標と、カーソル座標発生装置36のカーソル座標より、ウィンドウ位置制御部が行う。カーソルがクリックエリアA23～クリックエリアF28の内部にあればウィンドウ位置制御部36はある特定のウィンドウの座標を発生し、カーソルがクリックエリアA23～クリックエリアF28の外部ならばウィンドウの座標を発生しない。このウィンドウ座標より表示装置38はウィンドウを特定の位置にオープンする。例えば、第2図クリックエリアA23を選択したとすると、クリックエリアA23はウィンドウを左上にオープンするクリックエリア

……アイコン、17……ウィンドウ画面A、18……ウィンドウ画面B、20……アイコンの絵、21……アイコンの名前、22……アイコンのバックカラー、23……クリックエリアA、24……クリックエリアB、25……クリックエリアC、26……クリックエリアD、27……クリックエリアE、28……クリックエリアF、30……クリックエリアA座標発生部、31……クリックエリアB座標発生部、32……クリックエリアC座標発生部、33……クリックエリアD座標発生部、34……クリックエリアE座標発生部、35……クリックエリアF座標発生部、36……カーソル座標発生部、37……ウィンドウ位置制御部、38……表示装置。

代理人の氏名 弁護士 小畑治明 ほか2名

特開平4-184621(3)

なので、第1図のウィンドウ画面A17がオープンする。同様に、第2図クリックエリアF28を選択したとすると、クリックエリアF28はウィンドウを右下にオープンするクリックエリアなので、ウィンドウ画面B18がオープンする。

発明の効果

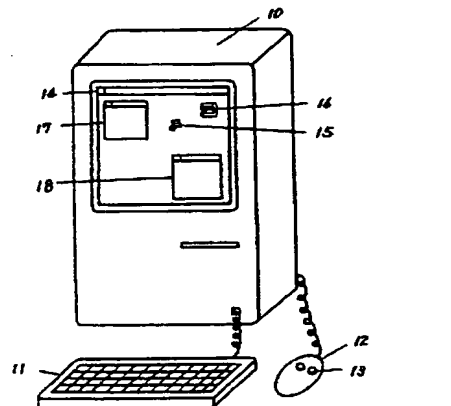
以上説明したように、本発明によれば、ウィンドウをオープンする時、操作者がウィンドウをオープンする位置を考慮し、マウス等の入力装置で、アイコンに対するカーソル位置を考慮し、クリックすることで、ウィンドウをオープンする位置を決めることができ、その実用的効果は大きい。

4、図面の簡単な説明

第1図は本発明の一実施例におけるウィンドウの制御装置の斜視図、第2図は同実施例のアイコンのクリックエリアを示す図、第3図は同実施例のウィンドウ制御手段を示す図である。

10……パーソナルコンピュータ、11……キーボード、12……マウス、13……ボタン、14……ベースウィンドウ、15……カーソル、16……アイコン、17……ウィンドウ画面A、18……ウィンドウ画面B

第1図

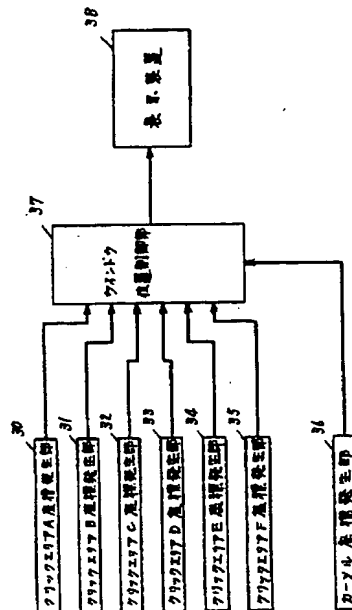
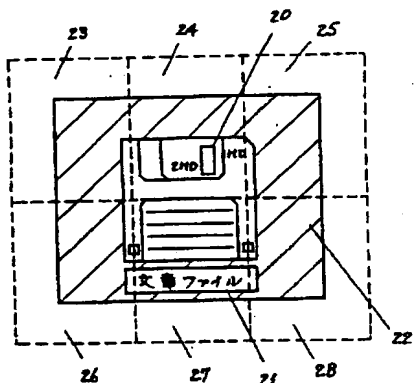


(6)

特開平4-184621(4)

- 20 ... マイコンの筐体
- 21 ... マイコンの名前
- 22 ... マイコンのバックカバー
- 23 ... クリックエリア A
- 24 ... クリックエリア B
- 25 ... クリックエリア C
- 26 ... クリックエリア D
- 27 ... クリックエリア E
- 28 ... クリックエリア F

第 2 図



第 3 図

**This Page is Inserted by IFW Indexing and Scanning
Operations and is not part of the Official Record**

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:

- ☐ **BLACK BORDERS**
- ☐ **IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES**
- ☐ **FADED TEXT OR DRAWING**
- ☐ **BLURRED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING**
- ☐ **SKEWED/SLANTED IMAGES**
- ☐ **COLOR OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS**
- ☐ **GRAY SCALE DOCUMENTS**
- ☐ **LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT**
- ☐ **REFERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY**
- ☐ **OTHER:** _____

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.